英国現代奴隷法に関する声明(仮訳)

セガサミーホールディングス株式会社（以下、当社）は、セガサミーグループ（以下、当グループ）の事業およびサプライチェーンにおける強制労働や人身取引などの人権侵害を防止するための取り組みについて、2015年に英国で施行された英国現代奴隷法第54条の定めに基づき、本声明を公表します。

1. 当グループの組織体制

当社は、総合エンタテインメント企業グループの持株会社です。当グループは、「感動体験を創造し続ける ～社会をもっと元気に、カラフルに。～」を Group Mission/Purpose とし、2025年3月期は、ゲームコンテンツから映像、玩具に至るまで多種多様な“遊び”を提供する「エンタテインメントコンテンツ事業」、パチンコ・パチスロの開発から販売までを手がける「遊技機事業」、統合型リゾートの運営およびカジノ機器の開発などを手がける「ゲーミング事業」を軸に事業を展開しました。

当グループの詳細については、以下の URL をご参照ください。

<https://www.segasammy.co.jp/>

2. 強制労働や人身取引防止に関する方針

当グループは、人権を尊重しており、当グループの事業およびサプライチェーンにおいて、強制労働や人身取引などの人権侵害を防止するため、さまざまな取り組みを行っています。

当グループは、「セガサミーグループ人権方針」を定め、当グループにおける人権に関する最上位の方針として位置づけ、事業活動に関わる全ての人々の人権尊重の取り組みを推進しています。

当グループは、「セガサミーグループ行動規範」において、「人権の尊重」、「人権の保護」および「人権侵害行為の禁止」を表明しています。

当グループは、「セガサミーグループ・マネジメントポリシー」において、「セガサミーグループ人財に関する方針」として、すべてのグループ社員に対し労働関連法を遵守し、公正に処遇することを表明しています。

当グループは、「セガサミーグループ サステナブル調達ガイドライン」を策定し、サプライチェーンにおける強制労働や人身取引などの人権侵害の防止のため、「非人道的な扱いの禁止」、「強制的な労働の禁止」および「児童労働の禁止」の遵守を明確にしています。

当社は、国連が提唱する「国連グローバル・コンパクト（以下、UNGC）」に2014年より参加しており、UNGCの定める10原則への支持を宣言しています。

「セガサミーグループ人権方針」、「セガサミーグループ行動規範」、「セガサミーグループ・マネジメントポリシー」および「セガサミーグループ サステナブル調達ガイドライン」の詳細については、以下の URL をご参照ください。

「セガサミーグループ人権方針」

https://www.segasammy.co.jp/ja/sustainability/group-sustainability/humanrights_policy/

「セガサミーグループ行動規範」

<https://www.segasammy.co.jp/ja/corp/conduct/>

「セガサミーグループ・マネジメントポリシー」

<https://www.segasammy.co.jp/ja/corp/conduct/policy/>

「セガサミーグループ サステナブル調達ガイドライン」

[https://www.segasammy.co.jp/cms/wp-](https://www.segasammy.co.jp/cms/wp-content/uploads/pdf/ja/Segasammygroup_SustainableProcurementGuidelines_jp_241101-1-1.pdf)

[content/uploads/pdf/ja/Segasammygroup_SustainableProcurementGuidelines_jp_241101-1-1.pdf](https://www.segasammy.co.jp/cms/wp-content/uploads/pdf/ja/Segasammygroup_SustainableProcurementGuidelines_jp_241101-1-1.pdf)

3. 強制労働や人身取引防止に関する取り組み

サプライチェーンマネジメント

強制労働や人身取引はサプライチェーン上で発生する可能性が特に高いと考えています。そのため、当グループではサプライチェーンにおける人権侵害の有無を確認するべく、サプライチェーンマネジメントに取り組んでいます。

具体的には、強制労働や人身取引に関するリスク評価を実施し、潜在的にリスクが高いと考えられるエンタテインメントコンテンツ事業におけるプライズ商品および玩具商品の調達において、主に海外の製造委託先工場などでの強制労働や人身取引の防止についての取り組みを進めています。

当グループでは、プライズ商品および玩具商品の調達に関して、強制労働や児童労働に関する法令遵守条項を盛り込んだ製造委託基本契約を締結しています。また、第三者機関による製造工場でのセガサミーグループ サステナブル調達ガイドラインの読み合わせを行う事で遵守を促し、強制労働や児童労働などの項目を含む法令遵守状況を確認しています（株式会社セガフエイブにおけるプライズ商品および玩具商品の製造委託先企業数を基準として、強制労働や児童労働に関する法令遵守条項を盛り込んだ製造委託基本契約の締結率 100%）。

なお、英国にある当グループ会社の SEGA Europe Limited、The Creative Assembly Limited および Sports Interactive Limited において、英国現代奴隷法に基づく声明文を公表しています。

(SEGA Europe Limited) <https://privacy.sega.com/en/modern-slavery-act-transparency-statement>

(The Creative Assembly Limited)

<https://privacy.sega.com/en/modern-slavery-act-transparency-statement-tcal>

(Sports Interactive Limited) <https://privacy.sega.com/en/modern-slavery-act-transparency-statement-si>

社内浸透策

当グループの役員・従業員を対象に外部講師による研修動画を e ラーニング形式で常時提供しており、強制労働や児童労働、人身取引防止や当グループの取り組みについて説明しています。

4. 今後に向けて

当社は、当グループの事業およびサプライチェーンにおいて、強制労働や人身取引などの人権侵害を防止するための必要な取り組みとして、当グループのすべての役員・従業員に適切な教育および啓発活動を行うとともに、サプライヤーなどを含むビジネスパートナーの皆さまへの理解促進に努め、サプライチェーンマネジメントを継続して実施してまいります。

これにより、当グループの事業およびサプライチェーンにおける強制労働や人身取引などの人権侵害の防止に努めてまいります。

本声明は、当社取締役会により承認されています。

2025年 9月 30日
セガサミーホールディングス株式会社
代表取締役社長 グループCEO
里見 治紀